

＜ご案内＞第15回聖路加看護学会学術大会

学術大会長 佐藤 エキ子
(聖路加国際病院)

この度、第15回という節目の回に大会長をさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今回の学術大会では、臨床看護実践にフォーカスを当てたいと考え、メインテーマは「開こう看護の技術箱—臨床看護実践への貢献—」といたしました。医療の高度化、医療に対する患者のニーズの多様化、医療安全に対する意識の高まりなど、医療サービスへの要求は強まる一方です。このような状況の中で、臨床現場では質の高い看護サービスを提供していかなければなりません。

学術大会では、「看護の技術箱」をキーワードに挙げ、実践・教育・研究の分野で活躍されている先生方を講師としてお招きしています。各講師の「技術箱」を開けていただき、それぞれの分野における知識・技術を講義していただきます。また、看護をもっと社会に評価してもらうための方策について、国政で活躍されている国会議員を講師としてお招きし、勉強したいと考えています。

一般演題の発表形式は第14回学術大会に習い、ポスター発表を予定しています。また、本大会の新企画として、「看護技術展示」も予定しています。この企画のねらいは、看護実践に携わっている方、あるいは看護関連の研究をしている方たちが日々の中で独自に工夫・開発した看護技術の「コツ」「道具」などを、学術大会の場を利用して、参加者の皆さまにお披露目していただくというものです。

さわやかな初秋の土曜日、一緒に「看護技術」の知見を蓄積してみませんか？ 皆さまと会場でお会いできることを楽しみにしております。

記

会 期：2010年9月25日〔土〕

会 場：聖路加看護大学（東京都中央区明石町10-1）

メインテーマ：開こう看護の技術箱—臨床看護への貢献—

プログラム（予定）

＜大会長挨拶＞ 佐藤エキ子（聖路加国際病院）

＜対 談＞

開こう看護の技術箱（技術箱の基礎） 川島みどり，菱沼典子

＜Review Lecture（教育講演）＞

「使おうみんなの看護の技術箱」（看護の技術箱からひろってみる）

新しい看護技術の概念と看護実践への応用 講師：徳永恵子

「磨こう看護の技術箱」

基礎と臨床を結ぶトランスレーショナルリサーチ 講師：真田弘美

＜特別講演＞

「示そう看護の技術」

看護の技術を社会に伝えよう 講師：阿部俊子

演題・展示募集要項

＜一般演題＞

1) 申し込み資格

共同研究者も含めて本学会の会員、または入会手続き中の方（入会手続き中の方は、学会当日までに入会の手続きをお済ませください）

2) 申し込み方法

演題申し込み、および抄録原稿提出を同時に行ってください。演題は未発表のものに限ります。

・募集期間：2010年4月26日〔月〕～5月31日〔月〕

・申し込み手順：以下の2点をEメール（slnr15@luke.or.jp）にて学術大会事務局まで送付してください。

①一般演題申込書：学術大会ホームページよりダウンロードしてください。

②抄録原稿：所定の書式（A4判・1枚）で作成してください。詳細は学術大会ホームページを参照してください。

3) 発表形式：示説のみとなります。

※一般演題は査読を行います。

<看護技術展示>

本学術集会の新企画として、看護の現場に携わっている方、もしくは看護関連の研究をされている方で、日々の実践の中で独自に工夫・開発した看護技術の「コツ」「道具」などを、参加者の皆さまにお披露目していただく機会です。

1) 申し込み資格

医療機関などで看護実践をしている方、もしくは看護・医療関連の研究をしている方（できれば本学会の会員または入会手続き中の方）。

2) 申し込み方法

展示申し込み・看護技術概要書（実演、手順、プロトコル等の記載原稿）の提出を同時に行ってください。

・募集期間：2010年4月26日〔月〕～5月31日〔月〕

・申し込み手順：以下の2点をEメール（slnr15@luke.or.jp）にて学術大会事務局まで送付してください。

①看護技術展示申込書：学術大会ホームページよりダウンロードしてください。

②看護技術概要書：所定の書式（A4判・1枚）で作成してください。詳細は学術大会ホームページを参照してください。

3) 発表形式：展示コーナーでの実演、あるいはパネル等による看護技術の説明を予定しています。

※看護技術の内容は選考させていただきます。

参加申し込み

学術大会への参加をご希望の方は、郵便振替で参加費の払い込みをお願いします。振込用紙は、1枚につき1人とし、住所、氏名、会員番号（会員のみ）、大学院名（大学院生のみ）を記入してください。事前申し込みは2010年9月3日〔金〕まで受け付けます。

※領収書は、郵便振替票をもってかえさせていただきます。

<参加費>	学 会 員	¥5,000	（当日参加	¥6,000）
	非学会員	¥6,000	（当日参加	¥7,000）
	大学院生	¥3,000	（当日参加	¥3,000）

<郵便振り込み先>	口座番号	00110- 4-346022
	加入者名	第15回聖路加看護学会学術大会

※学術大会申し込みと聖路加看護学会への入会費、年会費の払い込み先は異なります。

その他：プログラムは事前に送付します。講演集、参加証は当日にお渡しいたします。

学術大会事務局

〒104-8560東京都中央区明石町 9-1 聖路加国際病院看護管理室（高屋、池亀、井上）

FAX 03-3544-0649 e-mail slnr15@luke.or.jp

※入会申込先、会員番号問い合わせ、年会費納入期限等の問い合わせ先は聖路加看護学会本部（FAX 03-5565-1626, e-mail slnr@slcn.ac.jp）であり、学術大会事務局では対応できません。

聖路加看護学会学術大会

回	日 程	テーマ	開催地	学術大会長
1	1996年 9 月15日 (土)	建学の精神の具現化と軌跡	聖路加看護大学 東京	常葉 恵子 聖路加看護大学
2	1997年 9 月27日 (土)	実践重視の看護の創造	聖路加看護大学 東京	飯田澄美子 聖路加看護大学
3	1998年10月 3 日 (土)	実践の質を高める看護教育を求めて	聖路加看護大学 東京	藤枝 知子 東京女子医科大学
4	1999年 9 月25日 (土)	ユニフィケーションの方向性を探って	聖路加看護大学 東京	小松美穂子 茨城県立医療大学
5	2000年10月 7 日 (土)	在宅看護の源流と未来	大阪府看護協会会館 ナーシングアート大阪 大阪	氏家 幸子 大阪大学
6	2001年 9 月29日 (土)	「からだ」のわかる看護の探求	聖路加看護大学 東京	菱沼 典子 聖路加看護大学
7	2002年 9 月28日 (土)	看護と文学	聖路加看護大学 東京	井部 俊子 聖路加国際病院
8	2003年 9 月27日 (土)	看護の“知”と哲学的基盤	聖路加看護大学 東京	中山 洋子 福島県立医科大学
9	2004年 9 月25日 (土)	実践の“智”を築く	聖路加看護大学 東京	平野かよ子 国立保健医療科学院
10	2005年 9 月24日 (土)	生涯発達と看護	聖路加看護大学 東京	小澤 道子 聖路加看護大学
11	2006年 9 月23日 (土)	病気や障害のある生活と看護	聖路加看護大学 東京	木下 幸代 聖隷クリストファー大学
12	2007年 9 月22日 (土)	少子高齢社会を生きる力、支える力	聖路加看護大学 東京	太田喜久子 慶應義塾大学
13	2008年 9 月27日 (土)	死生観を育む	聖路加看護大学 東京	杉本 正子 東邦大学
14	2009年 9 月26日 (土)	ファーストクラスをめざす道 —ケアの未来を拓く—	聖路加看護大学 東京	堀内 成子 聖路加看護大学